

清水 幸夫



所属：国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）
宇宙科学研究所（ISAS）広報主幹付き職員

昭和28年大阪府出身。昭和51年東海大学工学部航空宇宙学科卒業。東京大学附属宇宙航空研究所研究生を経て昭和53年より東京大学附属宇宙航空研究所職員。文部省宇宙科学研究所など改組を経て現職。主に電気推進ロケットエンジンのひとつであるMPDアークジェットの研究・開発に従事。昭和55年に打上げられた工学試験衛星「たんせい4号」搭載のMPDアークジェット装置、昭和58年に打上げられたスペースシャトル「コロンビア号」搭載のSEPAC（粒子加速装置を用いた宇宙実験）実験装置、平成7年に打上げられ翌年シャトルで回収された再利用・多目的型フリーフライヤ「SFU」のシステムおよびSFUに搭載された電気推進実験「EPEX」を担当、平成15年に打上げられた小惑星探査機「はやぶさ」に搭載されているイオンエンジンなどの開発・研究・運用に従事した。その後、宇宙科学研究所および月・惑星探査プログラムグループの安全・品質保証室を統括し、「あかつき」、「イカロス」、「水星探査ベピコロンボ計画MMO」、「小型科学衛星SPRINT-A」、「はやぶさ-2」、「ASTRO-H」などの各プロジェクトの安全・信頼性・品質保証の観点から参画した。日本では珍しい宇宙工学の学芸員資格を持つ。平成26年3月末に定年退職後、現在、JAXA宇宙科学研究所宇宙科学広報・普及主幹付き担当職員ならびにJAXA宇宙教育推進室アドバイザー。平成30年10月より京都大学宇宙総合学ユニット非常勤講師。他に、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の特別アドバイザー、金沢市教育委員会の宇宙教育推進懇話会会長および金沢市宇宙塾塾長。岐阜大学宇宙工学講座（高専生・高校生が対象）講師。工学博士（東京大学）。

吉川 さやか



1995年 鷗友学園女子高等学校卒業
1999年 東海大学文学部広報学科卒業
1999年 出版社勤務

（小学館の百科事典の編集、飲食店・洋菓子店の取材など）

2005年 オリックス・レンテック株式会社入社
2006年 勤務の傍ら、世田谷フィルハーモニー管弦楽団 副運営委員長
2007年 300人の楽団員から成るオーケストラ・フェスティバルのステージマネージャー
2008年 日本メキシコ友好400年記念 オペラ公演 実行委員
2010年 NPO 法人太陽の村 立ち上げに携わる
2016年 沖縄のサンゴの苗作りボランティア
2017年 NPO 法人太陽の村 理事長就任。
2017年 相模原「宇宙の学校」実行委員。
・フリースクール：不登校児童・生徒の受け入れ
相模原市教育委員会フリースクール連携協議会登録
・放課後等デイサービス：発達障がいをもつ児童・生徒の支援
・自然体験教室：小・中学生を対象にした感性に訴える野外活動
・茶話会：地域の保護者を対象とした悩み相談会 開所以来、のべ利用人数3万人以上。

趣味：旅行。JAL グローバルクラブ会員

令和4年1月 新理事就任！！

令和4年1月の理事会を経て、新たな理事5名の方々が就任いたしました。これまでの8名の理事に加え、様々な専門分野で知見豊かな方々に参画いただき、今後は13名の理事でKU-MA活動をさらに発展させてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

酒井 幸子



現職：武蔵野短期大学客員教授・同附属保育園所長
職歴：

東京都公立幼稚園教諭・教頭・園長
恩賜財団母子愛育会愛育幼稚園長
東京聖徳大学教職大学院非常勤講師/青山学院大学非常勤講師
武蔵野短期大学教授：

同附属幼稚園長同附属幼稚園・保育園統括園長

これまでの主な役職：

文部科学省中央教育審議会：幼児教育専門部会委員・特別支援教育部会委員
内閣府男女共同参画連携推進会議：議員
全国国立幼稚園長会：会長
東京都幼児教育研究会：会長
一般社団法人保育教諭養成課程研究会理事（現在に至る）
一般社団法人日本乳幼児教育・保育者養成学会理事（現在に至る）

主な著書：

「発達障害のある子へのサポート実例集」共著 ナツメ社
「保育内容人間関係～あなたならどうしますか～」編著 萌文書林
「演習保育内容総論～あなたならどうしますか～」編著 萌文書林
「保育内容環境～あなたならどうしますか～」編著 萌文書林
「保育内容健康～あなたならどうしますか～」編著 萌文書林
「すごい・ふしぎ・おもしろい『子どもと楽しむ自然体験活動』保育力を磨くネイチャーゲーム」共著 光生館
「発達が気になる子の個別の指導計画」監修・共著 学研教育出版
「生活動作・運動・学習 サポート実例集」共著 ナツメ社
「発達障害の子どもたちと保護者をサポートする本 幼児編」共著 ナツメ社

主な研究歴：

「戦後学校教育法制定時における幼稚園の位置づけに関する研究 —学校種規定順決定までの経緯—」
「多様な個性に対応する教育課程の編成と実施 —バリアフリーの心をもった幼児を育てるために—」
「保育者の主体的な保育実践を導くコンサルテーション成立要因の抽出 —コンサルテーション実施の『その後』に焦点を当てて—」
「保育現場におけるコンサルテーションの実情と課題の解明 —管理職・ベテラン保育者へのインタビューの質的分析より—」
「特別な配慮を必要とする幼児を含む教育・保育の実践課題に関する実態調査 —令和元年度 文部科学省委託研究—」

目下の趣味：山登り、栽培

川口 淳一郎



【経歴】

宇宙工学者、工学博士。1978年 京都大学工学部卒業後、東京大学大学院工学系研究科航空学専攻博士課程を修了し、旧文部省宇宙科学研究所に助手として着任、2000年に教授に就任。2007年4月から2011年9月まで、月惑星探査プログラムグループプログラムディレクタ（JSPEC/JAXA）
1996年から2011年9月まで、「はやぶさ」プロジェクトマネージャを務める。現在、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所（ISAS/JAXA）宇宙飛翔工学研究系教授、2011年8月より、シニアフェローを務める。ハレー彗星探査機「さきがけ」、工学実験衛星「ひてん」、火星探査機「のぞみ」などのミッションに携わり小惑星探査機「はやぶさ」では、プロジェクトマネージャを務めていた。

著書：

『人工衛星と宇宙探査機』（コロナ社）、
『航空宇宙における制御』（コロナ社）、
『ビークル』計測・制御テクノロジーシリーズ（コロナ社）
はやぶさ、そうまでして君は～生みの親がはじめて明かすプロジェクト秘話（宝島社）
カラー版 小惑星探査機はやぶさ —「玉手箱」は開かれた（中公新書）
「はやぶさ」式思考法 日本を復活させる24の提言（飛鳥新社）
閃く脳の作り方 飛躍を起こすのに必要な11のこと（飛鳥新社）

上坂 浩光



（有）ライブ代表取締役、監督・CGアーティスト1960年生まれ。イラストレーター、アニメーターなど手書きの映像制作を経験の出発点とするが、CG黎明期のころから、独自に3Dソフトウェアを開発し、CG映像制作を行ってきた。1997年有限会社ライブを設立。CM、ゲーム映像、大型映像、企業VPなど、その制作分野は多岐に渡る。小惑星探査機「はやぶさ」の探査を全編CGで描いた『HAYABUSA - BACK TO THE EARTH-』は、プラネタリアムで 上映され大ヒット。多くの人々に感銘を与えた。その後、プラネタリアムフルドーム映像製作の第一人者として認められ、現在にいたる。受賞歴

「HAYABUSA - BACK TO THE EARTH -」第52回科学技術映像祭文部科学大臣賞 イミロアフルドームフェスティバル2010（アワード）映文連アワード2011・最優秀作品賞（グランプリ）「Eternal Return-いのちを継ぐもの-」映文連アワード2011・文部科学大臣賞 「MUSICA～宇宙はなぜ美しい？」
国際映像祭ドームフェスタ・オーディエンスチョイスアワード1位
マカオ国際フルドームフェスティバルで Best Producer Choise 「HORIZON～宇宙の果てにあるもの」 Jena Fulldome Festival 2018 Honorable Mention Fulldome Festival Brno 2018 Best Movie Award Minsk International Fulldome Festival 2018 Best Documentary 映文連2018 優秀技術賞